

29

びよーん さい高のおもち

柏崎市立田尻小学校 三年 星野 すす

「よいしょ！よいしょ！」

わたしのおばあちゃんの家では、毎年きねと石のうすでもちつきをします。ひとばんもち米を水につけたり、もち米をふかしたり、もち米をついたり。。。とても大へんです。

今年もお正月におばあちゃんの家でみんなでもちつきをしました。おばあちゃんがもち米をふかすと、台所からもち米のいいにおい



が広がってきて早く食べたいなあと思いました。ふかしたもち米をうすに入れたら、ゆ気が空にフワ〜と上がりました。ふかしたもち米はのびながってたけれど、すりつぶしていくうちにねばりが出てきました。いよいよもちをペツタン、ペツタンとつき始めました。おじいちゃんももちをつくと、「ペターン、パーン」とすごい音がしました。わたしもやってみました。きねが重くてふらふらしたので、おじ

いち<sup>ャ</sup>んに一<sup>シ</sup>よに持<sup>ッ</sup>てもらいました。お  
 じい<sup>ャ</sup>ちゃんのように音は鳴らなかつたけれど、  
 もちがきねとうすにく<sup>ッ</sup>ついてびよーんとの  
 びました。もちがのびたら、きねがも<sup>ッ</sup>と重  
 くかんじました。おばあ<sup>ャ</sup>ちゃんは手をぬらし  
 て、もちを返<sup>シ</sup>してくれました。みんなで交代  
 してついていくうちに、米のつぶがなくなっ  
 て、もちがついに出来上がりました。早そく  
 食べたら、も<sup>ッ</sup>ちもちで、のびてなかなか切  
 れませんでした。もちつきき<sup>キ</sup>でついたもちよ

りも、きねとうすで、みんなでカを合わせて  
 ついたもちの方がおいしくかんじました。調  
 べたら、きかいでつくところのようにもちを  
 つくけれど、きねとうすでつくところ、もち米を  
 たたいてつぶすので、もち米の内がわだけで  
 はなく、表面もし<sup>ッ</sup>かりつぶれるので、おい  
 しくなることが分かりました。  
 わたしは、ついたもちが大好きです。手間  
 がかか<sup>ッ</sup>て大へんだけど、これからも、もち  
 つきの文化がつづいてほしいです。